

水素バリューチェーン推進協議会に参画



三菱化工機株式会社（社長：高木 紀一）は、12月7日（月）に設立された水素分野におけるグローバルな連携や水素サプライチェーンの形成を推進する新たな団体「水素バリューチェーン推進協議会（以下、JH2A）」に参画いたしました。

JH2Aは、地球温暖化対策において中心的な役割を果たすことが期待される水素について、今後も日本がリードし続けるために、様々なステークホルダーと連携して取り組む新団体です。

当社は、小型オンサイト水素製造装置「HyGeia」シリーズの技術を核として、現在実証事業参画中の「水電解水素製造装置」さらには、水素吸蔵合金を用いた「吸蔵合金水素圧縮機」などを活用して、長年培ってきた技術、経験、ノウハウを活かしてJH2Aが掲げる「水素社会を構築する」という目的の実現に向け、JH2Aのメンバーと取り組んで参ります。

【団体概要】

目的	サプライチェーン全体を俯瞰し、業界横断的かつオープンな組織として、社会実装プロジェクトの実現を通じ、早期に水素社会を構築する	
団体名	水素バリューチェーン推進協議会 (英語名：Japan Hydrogen Association 略称：JH2A)	
共同代表者	内山田 竹志	トヨタ自動車(株)代表取締役会長
	國部 毅	(株)三井住友フィナンシャルグループ取締役会長
	牧野 明次	岩谷産業(株)代表取締役会長兼CEO
設立形態	任意団体（将来の一般財団法人化を展望）	
理事会員	9社	岩谷産業(株)、ENEOS(株)、川崎重工業(株)、関西電力(株) (株)神戸製鋼所、(株)東芝、トヨタ自動車(株) (株)三井住友フィナンシャルグループ、三井物産(株)
会員	88社（2020年12月7日時点）	

【活動内容】

①	社会実装プロジェクトの提案・調整
②	ファンドの創設、基本的な管理・運営の検討
③	需要創出、規制緩和等の政策提言
④	国際的な活動
⑤	国内外の情報収集・分析・発信

お問い合わせ先

三菱化工機株式会社 川崎市川崎区大川町2番1号 企画部 経営企画課

水素バリューチェーン推進協議会に参画



【水素社会実現に向けた当社の主な製品、取り組み】

○小型オンサイト水素製造装置HyGeiaシリーズ

<http://www.kakoki.co.jp/products/p-001/index.html>

○水素吸蔵合金を用いた水素高圧化の実証に成功

<http://www.kakoki.co.jp/news/pdf/p201130.pdf>

○環境省の実証事業向けに水電解水素製造装置を納入

<http://www.kakoki.co.jp/news/pdf/p190730.pdf>

○“福岡市水素リーダー都市プロジェクト～下水バイオガス原料による水素創エネ技術の導入～”が
一般財団法人新エネルギー財団の新エネルギー財団会長賞（導入活動部門）を受賞

<http://www.kakoki.co.jp/news/pdf/p180209.pdf>

○「MK K川崎水素ステーション」完成記念式典開催について

<http://www.kakoki.co.jp/news/pdf/p171002.pdf>



SDGsの目標に向けた活動を進め、事業活動を通じて持続可能な社会実現を目指して貢献して参ります

お問い合わせ先

三菱化工機株式会社

川崎市川崎区大川町2番1号 企画部 経営企画課